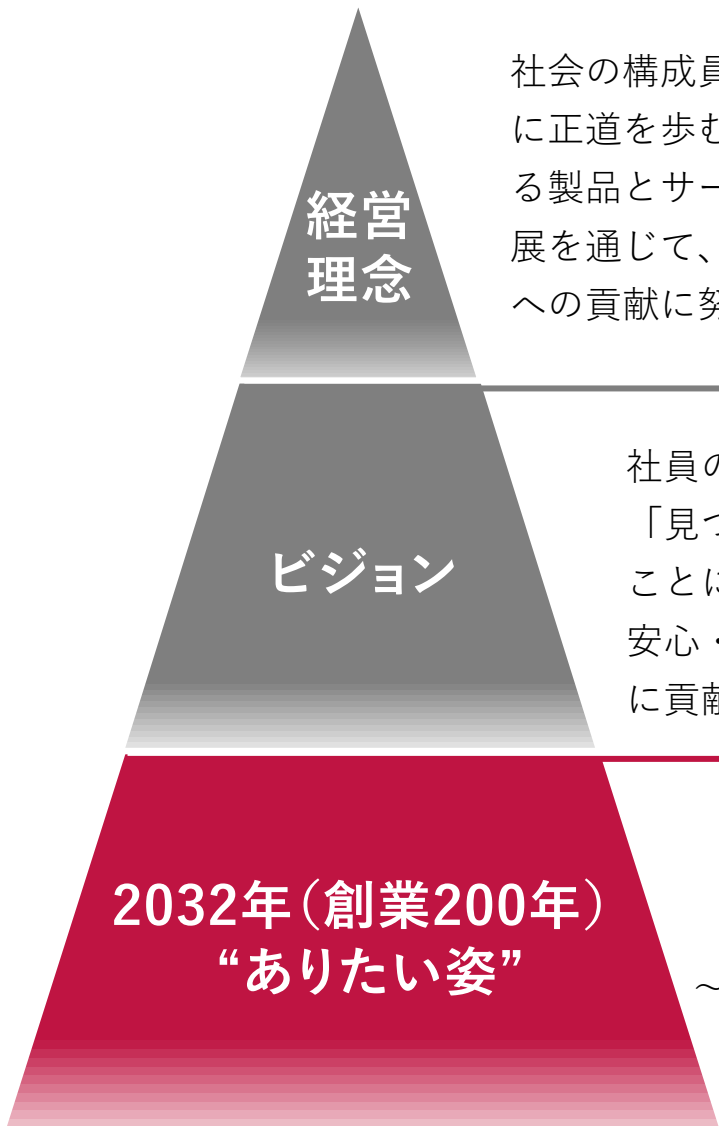
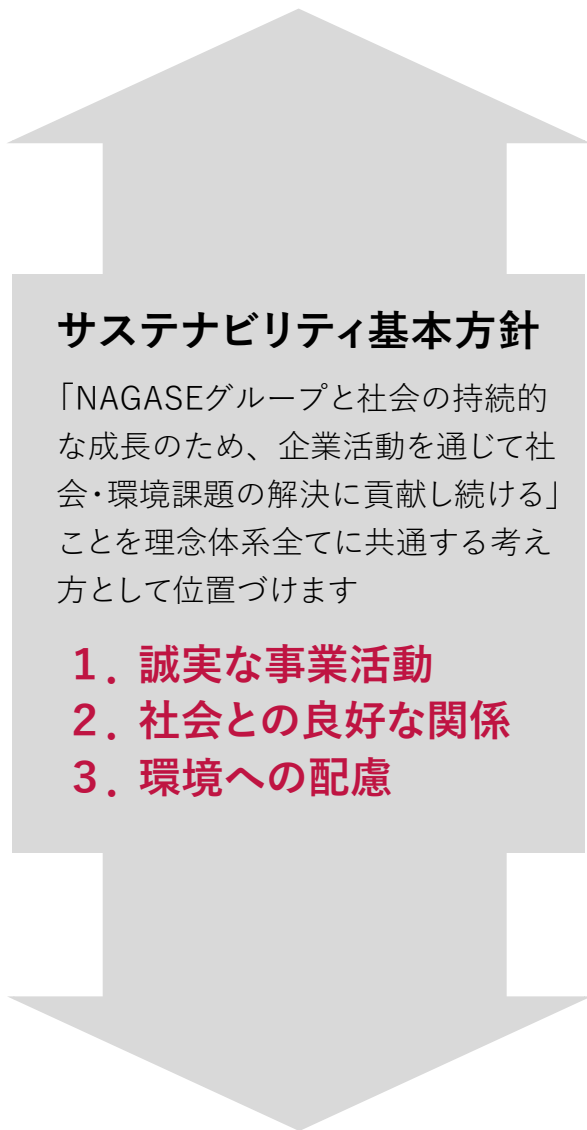


NAGASEグループの サステナビリティについて

長瀬産業株式会社

2022年5月27日

NAGASEグループ共通の価値観



社会の構成員たることを自覚し、誠実に正道を歩む活動により、社会が求める製品とサービスを提供し、会社の発展を通じて、社員の福祉の向上と社会への貢献に努める

社員の一人ひとりが、日々の活動で「見つけ、育み、広げる」を体現することにより、「人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会」の実現に貢献する

**温もりある未来を創造する
ビジネスデザイナー**

～「見つけ、育み、広げる」-
サステナブルな社会の発展に貢献します～

外部環境の認識

NAGASEおよびステークホルダーの双方にとって最重要事項は、「技術革新」、「気候変動・資源不足」、「人口動態の変化」、「業界再編」



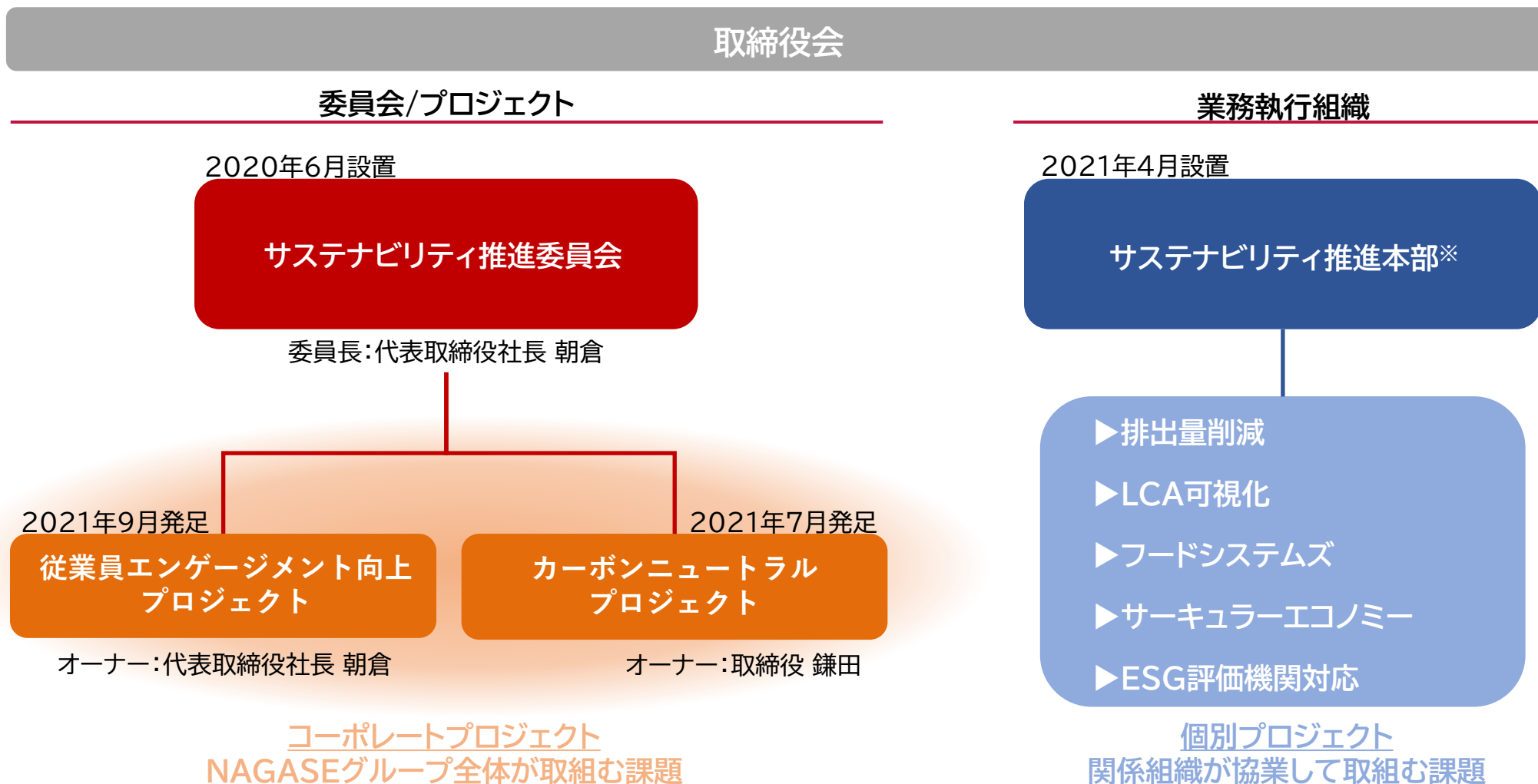
*1: 従業員、取引先、社会・消費者、株主それぞれのニーズに対して大きな変化を与えるものを重要と評価
*2: 新規事業の機会、既存事業の機会、既存事業の脅威、事業継続上の脅威をもたらすものを重要と評価

マテリアリティ(重要課題)

	提供価値	マテリアリティ(重要課題)	関連するSDGs
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 安全で働きやすい職場環境 従業員が明るく、楽しく、生き生きと仕事ができる環境 従業員とその家族が誇りを持って語れる企業集団 	<p>【多様な人財の活用、職場環境と企業文化の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先進技術を用いた生産性向上や多様な人財の活用 グループとして多様な背景を持つ従業員が、お互いを尊重し、活性化し合う職場環境の提供と企業文化の醸成 	
取引先	<ul style="list-style-type: none"> 取引先を深く理解し、幅広い可能性を追求できる協力関係の構築 バリューチェーン全体で取り組むべき課題や社会課題に対するソリューション 	<p>【先端技術を活用した新たな価値創造】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先端技術と取引先ネットワークを活用した新たな価値創造 複雑性が高まる取引先課題の真因理解に基づく、幅広い解決手法の提供 	
社会・消費者	<ul style="list-style-type: none"> 遵法・倫理経営を実践し、地域社会の発展に貢献 サプライチェーンに関わる人々の権利、健康、快適さに配慮 安心・安全で温もりのある社会実現に向けた製品・サービス 	<p>【社会・環境課題の解決とグローバルイゼーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候変動、食料・水不足等、安心・安全を脅かす課題の解決 食の安全の確保・向上にバイオやAI等の先端技術を活用して貢献 先進国を中心とした高齢化進行による健康維持に対する需要の充足 グローバルイゼーションの加速、地域毎の社会課題解決への寄与 	
株主	<ul style="list-style-type: none"> 透明性の高い経営体制と適時・適正な情報開示による信頼と安心 経済価値・社会価値の向上を両立し、継続的な事業創造による企業価値の最大化 	<p>【コーポレート・ガバナンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 透明性の高いコーポレート・ガバナンスを確立 経済価値と社会価値の両立による持続的な企業価値向上 	

サステナビリティ推進体制

- ・グループ全体でサステナビリティを推進するための体制を構築
- ・コーポレートプロジェクトとして、従業員エンゲージメント向上・カーボンニュートラルプロジェクトを発足



※2022年4月1日付でコーポレートコミュニケーション本部は、サステナビリティ推進本部と名称変更し、代表取締役社長直轄組織となりました。

非財務目標①:従業員エンゲージメント向上



ありたい姿
(長期)

ステークホルダーに提供したい価値	【従業員】 <ul style="list-style-type: none"> 安全で働きやすい職場環境 従業員が明るく、楽しく、生き活きと仕事ができる環境 従業員とその家族が誇りを持って語れる企業集団
マテリアリティ(重要課題)	【多様な人財の活用、職場環境と企業文化の提供】 <ul style="list-style-type: none"> 先進技術を用いた生産性向上や多様な人財の活用 グループとして多様な背景を持つ従業員が、お互いを尊重し、活性化し合う職場環境の提供と企業文化の醸成

あるべき姿
(中期)

ACE 2.0 非財務目標(KPI)※	グループ会社 : 定期的にエンゲージメントサーベイを実施している割合 100% 長瀬産業(単体) : エンゲージメントサーベイトータルスコア 60以上
取組み方針	タレントマネジメント、健康経営、働き方改革、ダイバーシティ&インクルージョン、人事ポリシー

単年実績
(短期)

取組みの実績	エンゲージメントサーベイの実施、働き方改革(Project Bridge始動、ドレスコードフリーの実施)
開示項目	【従業員(単体)】 男女数(率)、非正規雇用者数(率)、障がい者雇用率、中途採用数 【働き方(単体)】 新卒採用3年後在籍率、自己都合離職率、平均勤続年数、年間平均給与、年間総労働時間、有給取得率、出産・育児休暇取得者数、人材開発研修参加者、研修総時間 【安全衛生(単体+国内製造会社)】 労災発生件数、死亡災害件数、度数率、労災頻度、安全衛生に関する研修受講者数

※連結子会社を対象とし、Prinova グループは1社として算定。

※2021年度:グループ会社の実施割合は41%(24社(1回のみの実施含む))。長瀬産業(単体)におけるエンゲージメントサーベイトータルスコアは、52.4。

非財務目標②:カーボンニュートラル



ありたい姿
(長期)

ステークホルダーに提供したい価値	【社会・消費者】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 遵法・倫理経営を実践し、地域社会の発展に貢献 ・ サプライチェーンに関わる人々の権利、健康、快適さに配慮 ・ 安心・安全で温もりのある社会実現に向けた製品・サービス
マテリアリティ(重要課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気候変動、食料・水不足等、安心・安全を脅かす課題の解決 ・ グローバリゼーションの加速、地域毎の社会課題解決への寄与

あるべき姿
(中期)

ACE 2.0 非財務目標(KPI)	連結 : Scope1、2削減率 37%以上(2013年比) 連結 : 再生可能エネルギー発電・購入による削減量 35,000t以上(累計) 長瀬産業(単体) : Scope2ゼロエミッション
取組み方針	全体施策 : 外部イニシアチブへの参画、環境対応投資の促進、社内炭素税の検討 可視化 : サプライチェーンにおける排出量の可視化、戦略製品のLCA算出 削減 : 低炭素製品・削減ソリューションの提供、環境対応型設備の導入 生産工程改善、再エネ活用(購入・自家発電)

単年実績
(短期)

取組みの実績	カーボンニュートラル宣言、TCFD賛同表明、 (株)ゼロボードと業務提携、国内製造子会社によるLCA算定開始
開示項目(実績のみ)	【連結】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 温室効果ガス排出量(Scope1、2、3) ・ 温室効果ガス Scope1 排出量タイプ別内訳 ・ エネルギー使用量、電力使用量、生産時の原単位(t-CO2/製造量t)

NAGASEカーボンニュートラルに向けた取組み

【NAGASEグループカーボンニュートラル宣言】

2050年目標 : Scope1、2 ニュートラル

2030年目標 : Scope1、2 46%削減(2013年比)

Scope3 12.3%以上削減(2020年比)

【NAGASEグループ全体】

全体施策

外部イニシアチブへの参画 / 環境対応投資の促進 / 社内炭素税の検討

【商社業主導】

【製造業主導】

<p>施策①</p> <p>サプライチェーンにおける 排出量の可視化など</p>	<p>可視化</p>	<p>施策②</p> <p>戦略製品のLCA算出など</p>
<p>施策③</p> <p>低炭素製品・削減ソリューションの提供、 環境対応型設備の導入など</p>	<p>削減</p>	<p>施策④</p> <p>生産工程改善、再エネ活用 (購入・自家発電) など</p>

サプライチェーン全体の課題：NAGASEの提供価値

外部環境

気候変動対応が経営課題へ	Scope3: サプライチェーン全体での対応が必要	サプライチェーンの標準的な算定方法 が定まっていない
<ul style="list-style-type: none"> 気候変動対応の情報開示は株式市場における競争要因 プライム市場はTCFD開示が必要 TCFDはScope3の開示を推奨 	<ul style="list-style-type: none"> Scope3削減は自社努力のみでは効果が少ない サプライチェーン上流への削減目標の設定が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 削減目標の設定に必要な標準的な算出方法が必要 特に海外生産拠点の算定方法の標準化と正確性の担保



NAGASEグループの提供価値

- 低炭素製品・削減ソリューションの提供、環境対応型設備の導入など
- サプライチェーンのScope3の算定支援
- カテゴリ1(購入した製品)などの一次データへの置換え、および経済価値訴求に向けた対話を促進

株式会社ゼロボードと業務提携



株式会社ゼロボードと長瀬産業株式会社 CO2 可視化サービスの展開で業務提携 テクノロジーと商社のネットワークで企業の脱炭素経営をサポート

株式会社ゼロボードと当社は、企業の脱炭素経営の支援を目的として、ゼロボードが開発したCO2(二酸化炭素)排出量算出・可視化クラウドサービス「zeroboard」の販売・事業展開に伴う業務提携について合意しました。

今後、株式会社ゼロボードが「zeroboard」の開発・改良、データベースの管理を行い、当社は化学品業界を中心に本サービスの販売、顧客ニーズの収集、CO2排出量削減のソリューションの開発・提供等を行います。



- ユーザー企業間でのデータ連携機能
- 簡単な入力操作のみでGHGプロトコルに基づくCO2 排出量(Scope1~3)の算出
- 環境法令に対応するレポート機能
- 企業規模にあった月額料金設定

主な賛同イニシアチブと外部評価

【新たな評価】



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexの構成銘柄に選定されました。



グループ会社の(株)林原がEcoVadis社の「ゴールドメダル」を獲得しました。

【CDPのレーティング推移】



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
Climate	D	C	B	B
Water	C	C	B	A-
Forest	Forest: not scored	C-	C	C

【賛同イニシアチブと外部評価】



2021 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)





<https://www.nagase.co.jp/>

当プレゼンテーション資料には、2022年5月27日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。